

○山形県鶴岡市の取組

（1）第1期計画の取組による成果

鶴岡市では、平成25年度から令和4年度（10年間）を計画期間とする第1期歴史まちづくり計画により、以下のような成果をあげています。

- ・鶴岡公園内の広場整備や内堀周辺道路の無電柱化と美装化、羽黒山宿坊街の街なみ修景整備の支援、松ヶ岡開墾場周辺施設の整備等により、良好な景観の形成と街なみ環境が整備され、日本遺産認定にもつながりました。
- ・多言語表示の総合案内板や散策休憩施設等の整備、国内外の交流や情報発信により、令和元年の外国人宿泊者数が平成25年に比べ4.7倍に増加しました。



羽黒山五重塔（国宝）と修験道・秋の峰入り



松ヶ岡開墾場（史跡）

（2）第2期計画の概要

鶴岡市には、国宝や重要文化財等を含む中世から近代における文化財が数多く存在します。城下町の骨格が残り、史跡旧致道館などの歴史的建造物が融合した街なみが現存する鶴ヶ岡城下町地区、国宝羽黒山五重塔や宿坊街の街なみが残る羽黒手向地区、史跡松ヶ岡開墾場と往時の開墾精神が受け継がれている羽黒松ヶ岡地区で、各地域固有の歴史的風致が形成されています。

第2期計画では、第1期計画の評価と検証を行うとともに、引き続き、公共施設等の修景整備や支援、協議会の活動助成等による歴史的建造物の保存と活用を図るほか、歴史的・文化的資源を活かした歴史と魅力あるまちづくりの推進、豊かな自然、歴史、文化、景観を背景とした固有の歴史的風致の維持向上を図り、市民の歴史まちづくりへの理解醸成と国内外に向けた魅力発信をしてまいります。



鶴ヶ岡城下町地区 庄内大祭の大名行列



羽黒手向地区 出羽三山参り